

# 「野の花の丘」 便り (8月中旬)

## セイタカアワダチソウ!

8月も中旬となり、世の中の暑さとは別に、「野の花の丘」は秋の風情が漂ってきました。夏の花のクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオ、クサレダマなどが終わりをむかえ、今はツリガネニンジン、オミナエシ、エゾミンソハギなどが盛りをむかえています。

そして厄介者のセイタカアワダチソウも黄色い花をつけ始めました。セイタカアワダチソウは北米からの帰化植物で、日本で大繁殖しました。この根にはほかの植物の発芽・生長を阻害する物質が含まれて、周囲の植物を駆逐してしまいます。日本古来の植物はみなこれにやられて生えなくなりました。

しかしながらセイタカアワダチソウ自体も自らの毒で彼ら自身まで被害を被るようになりました。一時はものすごく勢力を誇ったセイタカアワダチソウが最近では自滅を始め少なくなってきました。

植物の世界では「一人勝ち」は許してくれないようです。それでも厄介者には変わりありません。せっせと取り除くしか手立てはないようです。

よく見れば菊の花に似て可愛い  
セイタカアワダチソウの花



今多く見られる花

ツリガネニンジン

エゾミンソハギ

オミナエシ

